様式３(2015.06改)

作成日　令和元年１１月１６日

外部評価軽減要件確認票

事業所番号	2372001418
事業所名	グループホームたけのこ

【重点項目への取組状況】

		評価
重点項目①	事業所と地域とのつきあい（外部評価項目：２）	
	「地域カフェ(認知症カフェ)」では、多くの地域のボランティアが活躍する。 食事(カレーライス)作りはOGを含む民生委員のグループ、健康教室は地域の薬局と食品メーカーが担当する。 焼き芋用の芋は地域から提供された。	○
重点項目②	運営推進会議を活かした取組み（外部評価項目：３）	評価
	ほぼ2ヶ月おきに、年間6回の運営推進会議が開催されている。 運営状況の報告では、2ヶ月間の活動の様子を映像で紹介し、参加者のホーム理解を進めている。 会議には、利用者のほぼ全員が参加する。	○
重点項目③	市町村との連携（外部評価項目：４）	評価
	運営推進会議の行政枠で、地域包括支援センター職員が毎回出席しており、ホーム運営に協力的で地域カフェにもボランティアとして参加している。 ホームは、市の「徘徊SOSネットワーク」に登録している。	○
重点項目④	運営に関する利用者、家族等意見の反映（外部評価項目：６）	評価
	ほとんどの利用者が運営推進会議に出席し、「身廃委」の委員として発言している。 利用者は、「身体拘束はない」と会議で言明しており、ホーム理念である「自立」や「自己決定」等の支援の実践を裏付けている。 毎月「たけのこ新聞」を発行して家族に届けており、利用者の写真を多用した紙面づくりは家族からも好評を得ている。	○
重点項目⑤	その他軽減措置要件	評価
	○「自己評価及び外部評価」及び「目標達成計画」を市町村に提出している。	○
	○運営推進会議が、過去１年間に６回以上開催されている。	○
	○運営推進会議に市町村職員等が必ず出席している。	○
総合評価		○

１．外部評価軽減要件

① 別紙４の「１　自己評価及び外部評価」及び「２　目標達成計画」を市町村に提出していること。

② 運営推進会議が、過去１年間に６回以上開催されていること。

③ 運営推進会議に、事業所の存する市町村職員又は地域包括支援センターの職員が必ず出席していること。

④ 別紙４の「１　自己評価及び外部評価」のうち、外部評価項目の２、３、４、６の実践状況（外部評価）が適切であること。

２．外部評価軽減要件④における県の考え方について

外部評価項目	確認事項
２．事業所と地域のつきあい	（例示） ① 自治会、老人クラブ、婦人会、子ども会、保育園、幼稚園、小学校、 消防団などの地域に密着した団体との交流会を実施している。 ② 地域住民を対象とした講習会を開催若しくはその講習会の講師を派遣し、認知症への理解を深めてもらう活動を行っている。
３．運営推進会議を活かした取り組み	（例示） ① 運営基準第８５条の規定どおりに運用されている。 ② 運営推進会議で出された意見等について、実現に向けた取り組みを行っている。
４．市町村との連携	（例示） ① 運営推進会議以外に定期的な情報交換等を行っている。 ② 市町村主催のイベント、又は、介護関係の講習会等に参画している。
６．運営に関する利用者、家族等意見の反映	（例示） ① 家族会を定期的（年２回以上）に開催している。 ② 利用者若しくは家族の苦情、要望等を施設として受け止める仕組みがあり、その改善等に努めている。 ③ 家族向けのホーム便り等が定期的（年２回以上）に発行されている。

【過去の軽減要件確認状況】

実施年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	R元年度
総合評価	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○